



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6561
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,050	—	5	—	3	—	△4	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △3百万円 (—%) 2019年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△0.63	—
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2019年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第1四半期の数値及び2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの、1株あたり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,719	1,017	59.2
2019年3月期	1,167	414	35.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,017百万円 2019年3月期 414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,207	—	82	—	80	—	53	—	8.12
通期	4,496	37.1	277	47.4	277	48.4	194	31.3	28.83

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 当社は2019年3月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期 (累計) の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

3. 連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、2019年5月29日及び2019年6月28日に払込が完了した自己株式の処分に係る増加株式数を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	7,150,000株	2019年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	248,500株	2019年3月期	1,250,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	6,361,125株	2019年3月期1Q	5,900,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢の改善等を背景に国内の景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、東アジアの地政学的リスクや米中の貿易問題等、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当社が関連する情報サービス市場では、IoT、AI、フィンテック、5G等、IT技術の積極的な活用をテーマに企業の投資が拡大しており、今後もさらなる発展が見込まれております。一方で、それらの発展に伴うIT技術の高度化・複雑化により、ソフトウェアの品質向上やセキュリティ対策へのニーズも高まり続けており、第三者検証の専門企業の担う役割もさらに広がるものと考えております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、バルテスを通じて、お客様の品質に対する自信を揺るぎないものにする「VALTES for Quality Confidence」をスローガンとして掲げ、高スキル技術者の確保とサービス品質の向上を成長戦略の中心に位置付け、経営資源を重点的に投下しております。

技術者の確保に関しまして、特に即戦力人材の採用は厳しい状況が続く中、多様なテストプロジェクトに関わってきた当社のノウハウを活かした社内研修制度が、業界未経験者の短期間での戦力化を可能としており、併せて外部協力会社との連携も強化する等、技術者を安定的に供給する体制の構築に取り組んでおります。また、正社員のJSTQB(※1)の保有率が92%(入社2年目以降を対象)を超え、2018年には日本企業として初めてISTQB(※2)のグローバルパートナーに認定される等、サービス品質向上に向けた取組みをグループ全体で行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,050,645千円と堅調に拡大しておりますが、人員不足による外注費の増加や採用・教育といった人材関連の投資が先行し、営業利益5,617千円、経常利益3,743千円、親会社株主に帰属する四半期純損失4,016千円となりました。

※1「Japan Software Testing Qualifications Board」の略 テスト技術者の資格認定制度の運営団体

※2「International Software Testing Qualifications Board」の略 国際ソフトウェアテスト資格認定委員会

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、外注費増加による利益率の悪化というマイナス要因はあったものの、当社のテストサービスに対する信頼が主に既存顧客との取引拡大に繋がり、外部顧客に対する売上高は960,918千円と順調に成長し、セグメント利益は31,802千円となりました。

②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、外部顧客に対する売上高は80,140千円と堅調に推移しましたが、人材確保・育成のための費用が先行し、セグメント損失は6,461千円となりました。

③オフショアサービス事業

当事業においては、新規案件の獲得に苦戦し、売上高は9,586千円、セグメント損失は3,454千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,432,315千円となり、前連結会計年度末に比べ549,746千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加551,493千円によるものであります。固定資産は287,091千円となり、前連結会計年度末に比べ1,879千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加8,201千円、繰延税金資産の減少7,241千円によるものであります。

この結果、総資産は1,719,406千円となり、前連結会計年度末に比べ551,626千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は694,645千円となり、前連結会計年度末に比べ11,182千円減少いたしました。これは主に買掛金の増加23,249千円、短期借入金の増加30,000千円、未払法人税等の減少57,610千円、賞与引当金の減少26,320千円によるものであります。固定負債は6,772千円となり、前連結会計年度末に比べ40,470千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少40,145千円によるものであります。

この結果、負債合計は701,417千円となり、前連結会計年度末に比べ51,653千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,017,989千円となり、前連結会計年度末に比べ603,280千円増加いたしました。これは主に資本剰余金の増加584,625千円、親会社株主に帰属する四半期純損失4,016千円の計上による利益剰余金の減少、自己株式の減少22,633千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は59.2%(前連結会計年度末は35.5%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第1四半期連結累計期間の実績および足元の受注状況に鑑み、2020年3月期通期および2020年3月期第2四半期の業績予想を修正いたしております。詳細は、本日(2019年8月9日)に公表いたしました、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	292,969	844,463
受取手形及び売掛金	518,032	502,080
電子記録債権	10,860	13,136
仕掛品	14,641	20,429
その他	46,065	52,206
流動資産合計	882,568	1,432,315
固定資産		
有形固定資産	84,511	92,712
無形固定資産	7,248	7,386
投資その他の資産		
繰延税金資産	113,950	106,708
その他	79,502	80,283
投資その他の資産合計	193,452	186,992
固定資産合計	285,211	287,091
資産合計	1,167,780	1,719,406
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,263	96,512
短期借入金	86,500	116,500
1年内返済予定の長期借入金	49,063	56,173
未払金	258,443	261,304
未払法人税等	58,127	517
賞与引当金	72,240	45,920
その他	108,189	117,717
流動負債合計	705,828	694,645
固定負債		
長期借入金	42,331	2,186
その他	4,912	4,586
固定負債合計	47,243	6,772
負債合計	753,071	701,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	167,345	751,970
利益剰余金	183,373	179,357
自己株式	△28,250	△5,616
株主資本合計	412,468	1,015,711
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,240	2,277
その他の包括利益累計額合計	2,240	2,277
純資産合計	414,708	1,017,989
負債純資産合計	1,167,780	1,719,406

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,050,645
売上原価	784,346
売上総利益	266,298
販売費及び一般管理費	260,681
営業利益	5,617
営業外収益	
受取利息	1
助成金収入	2,422
その他	62
営業外収益合計	2,486
営業外費用	
支払利息	324
支払保証料	478
株式交付費	3,553
為替差損	4
営業外費用合計	4,360
経常利益	3,743
税金等調整前四半期純利益	3,743
法人税、住民税及び事業税	518
法人税等調整額	7,241
法人税等合計	7,759
四半期純損失(△)	△4,016
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,016

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失(△)	△4,016
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	37
その他の包括利益合計	37
四半期包括利益	△3,978
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,978
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月30日に東京証券取引所マザーズに上場しており、それに伴い2019年5月29日を払込期日とする公募による自己株式の処分及び2019年6月28日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式売出しに関連した第三者割当による自己株式の処分を行っております。当該自己株式の処分等により、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金が584,625千円増加、自己株式が22,633千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が751,970千円、自己株式が5,616千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	960,918	80,140	9,586	1,050,645	—	1,050,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,697	8,242	1,144	11,084	△11,084	—
計	962,616	88,382	10,730	1,061,729	△11,084	1,050,645
セグメント利益又は損失 (△)	31,802	△6,461	△3,454	21,887	△16,269	5,617

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△16,269千円は、セグメント間未実現利益の調整額△309千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△15,960千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。